

デンジソウ

Marsilea quadrifolia L.

デンジソウ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育環境が減少し、個体数も激減している。(現況:V2-)

形態

小葉4枚丸い扇形で径10~20mm、先は鈍形ないし鋭形。柄の長さ葉柄の下部途中から総花柄が出て2~3回分岐する。果のうは硬くて楕円形。長さ4~5mmで毛がある。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬、沖縄。

県内分布

加賀中央区、南加賀区。

生態など

夏緑性の浮水性ないし抽水性水生植物である。好陽地性、若い葉が睡眠運動をすることが知られている。根茎は細くて長く泥中を這い分岐する。孢子嚢は葉柄基部に近いところから出た柄の先の枝につく。繁殖は根茎と孢子による。孢子は秋になると熟し、水で散布する。

生育環境

ヤブツバキクラス域からブナクラス域の水中に生育する。

危険要因

池沼開発、産地局限。



本多郁夫・2004年7月27日・金沢市

分布図はありません。

県内の分布